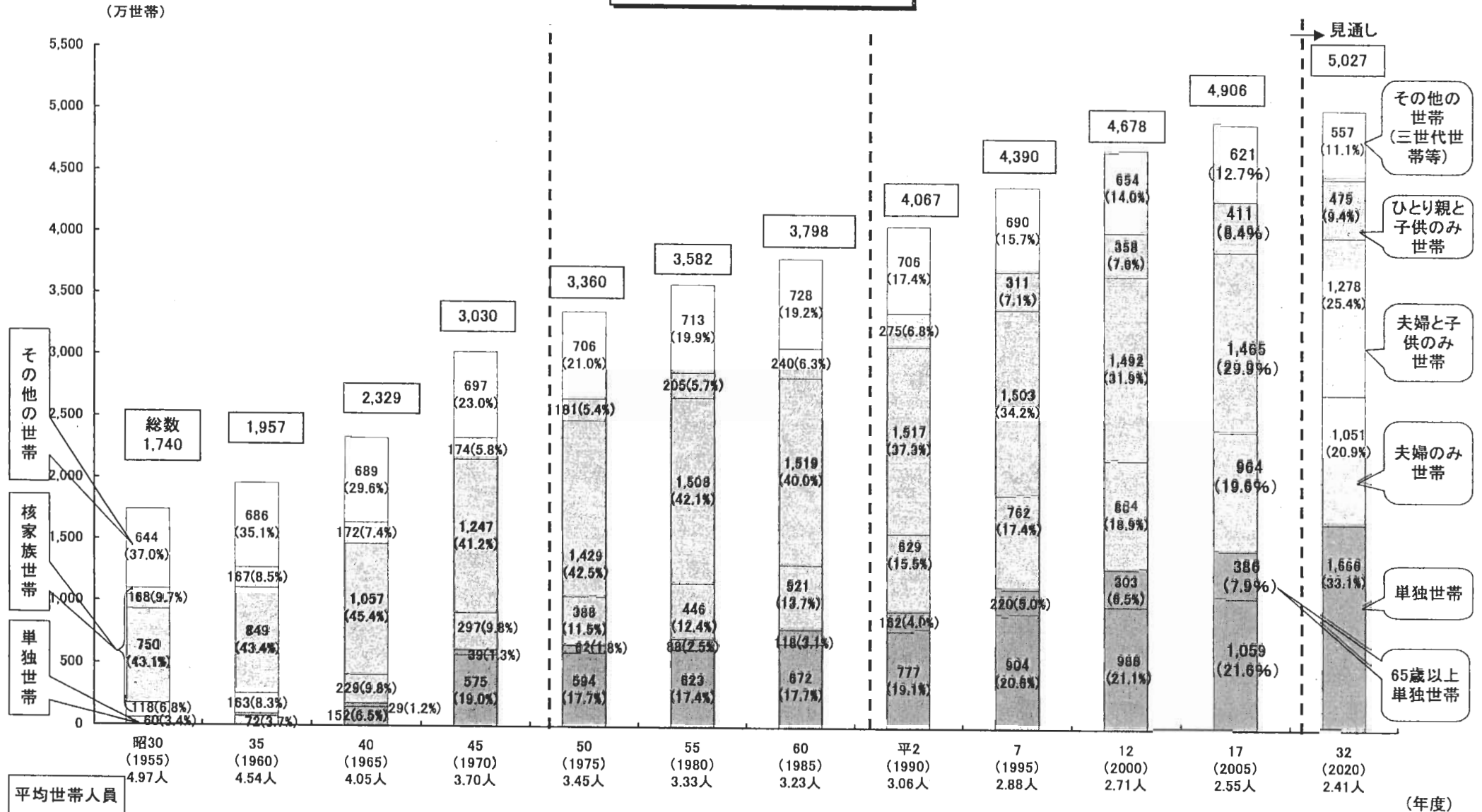


家族類型別世帯数の推移

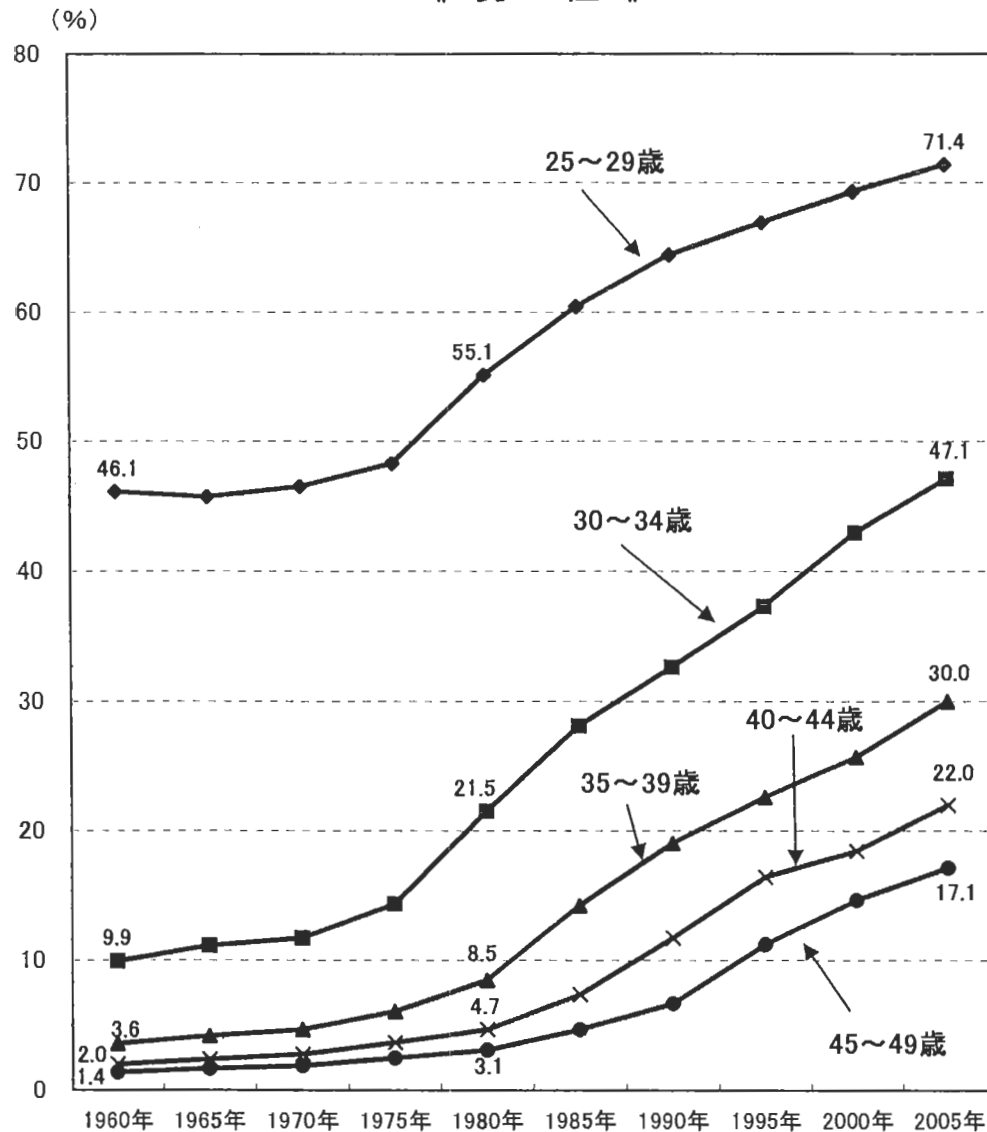


(備考) ・世帯数：昭和40年(1965)以前は普通世帯、昭和45年(1970)以降は一般世帯の数値である。
 ・平均世帯人員：大正9年(1920) 4.89人 昭和5年(1930) 4.98人 昭和15年(1940) 4.99人 昭和25年(1950) 4.97人
 ・昭和30年(1955)、平成32年(2020)についてはデータの制約上「65歳以上単独世帯」の区分を行っていない。
 ・数値は四捨五入しているため一致しない場合がある。

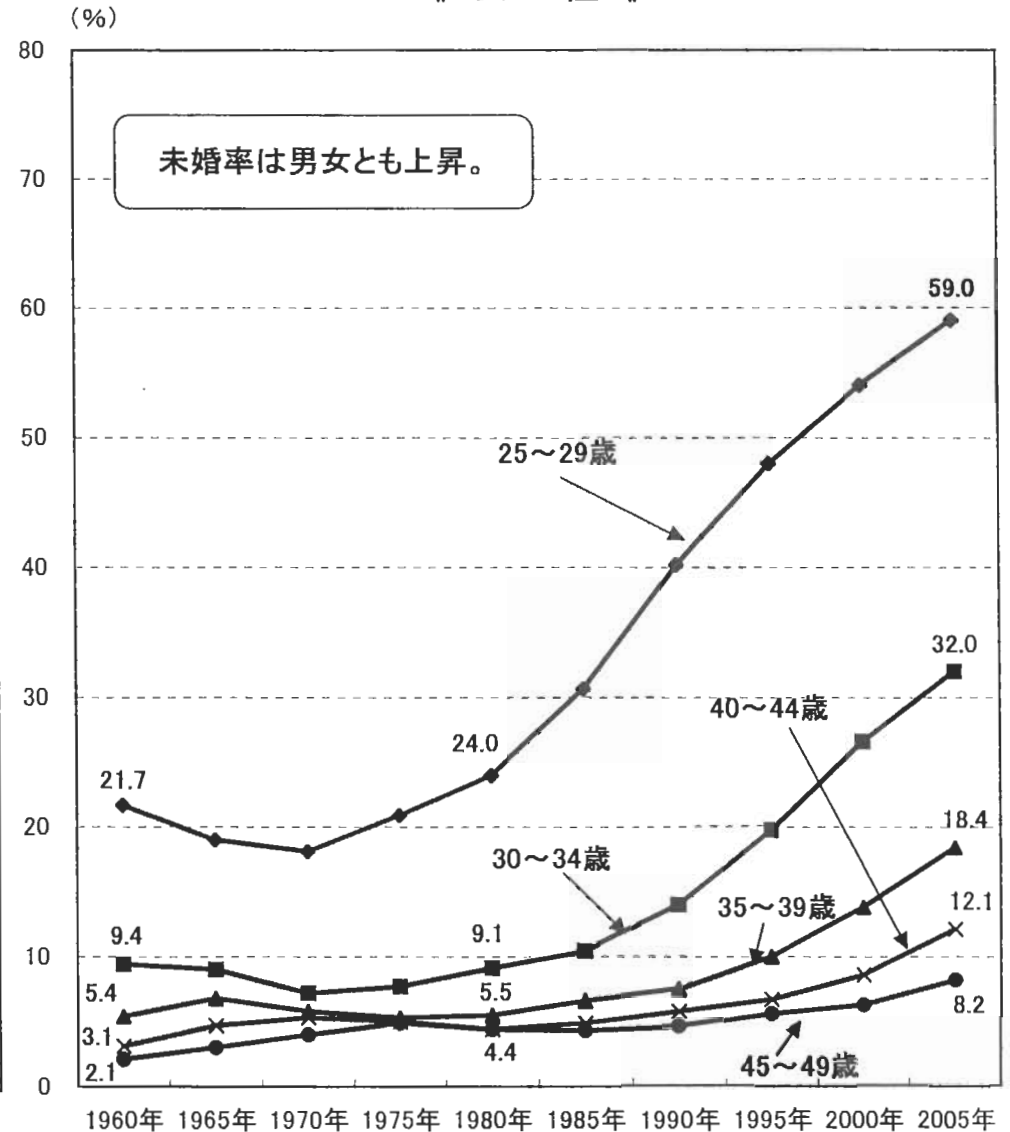
(出所) 平成17年(2005)以前：総務省「国勢調査報告」
 平成32年(2020)：国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来集計(平成15年10月推計)」中位推計

年齢別未婚率の推移

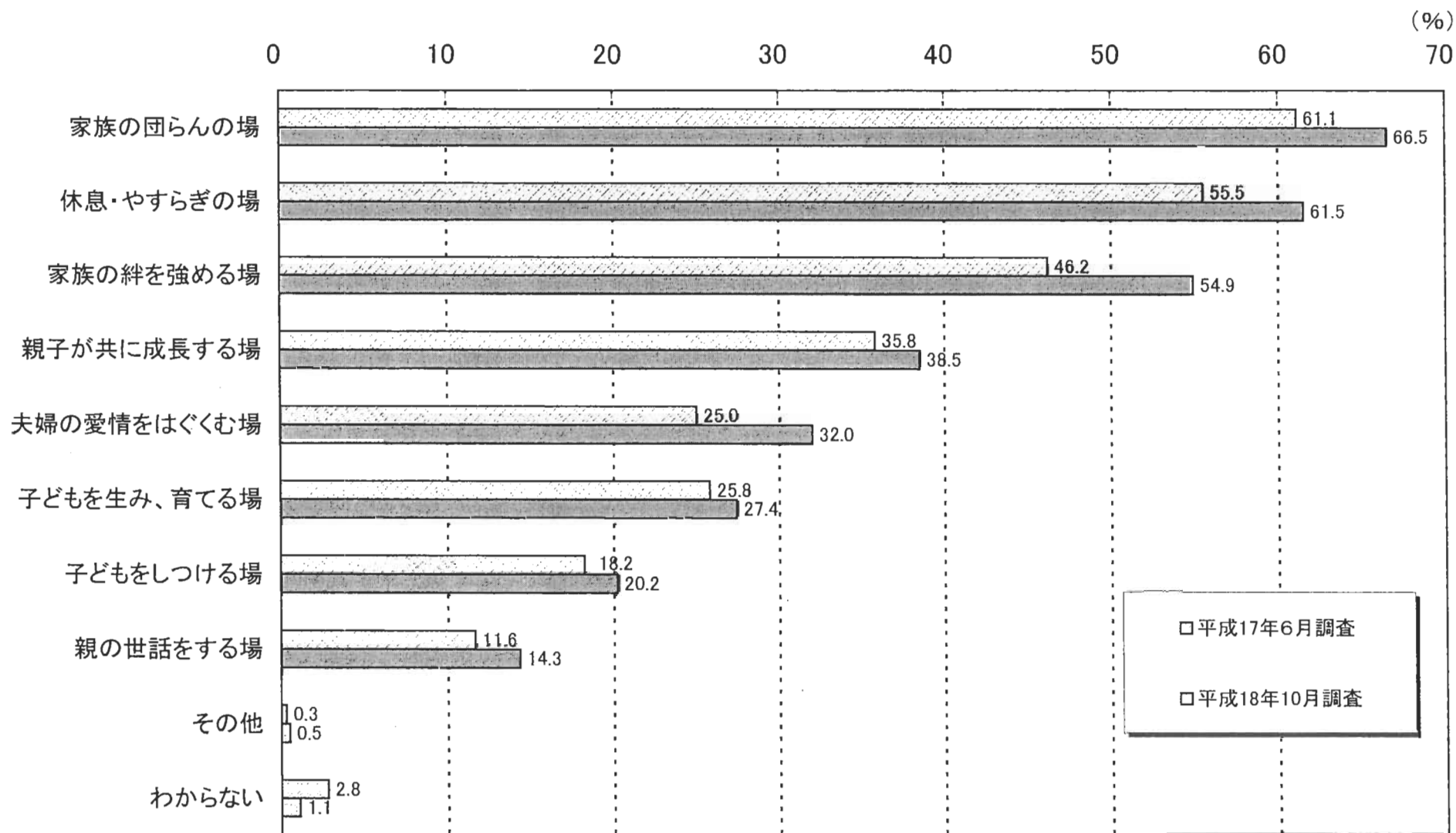
《 男 性 》



《 女 性 》



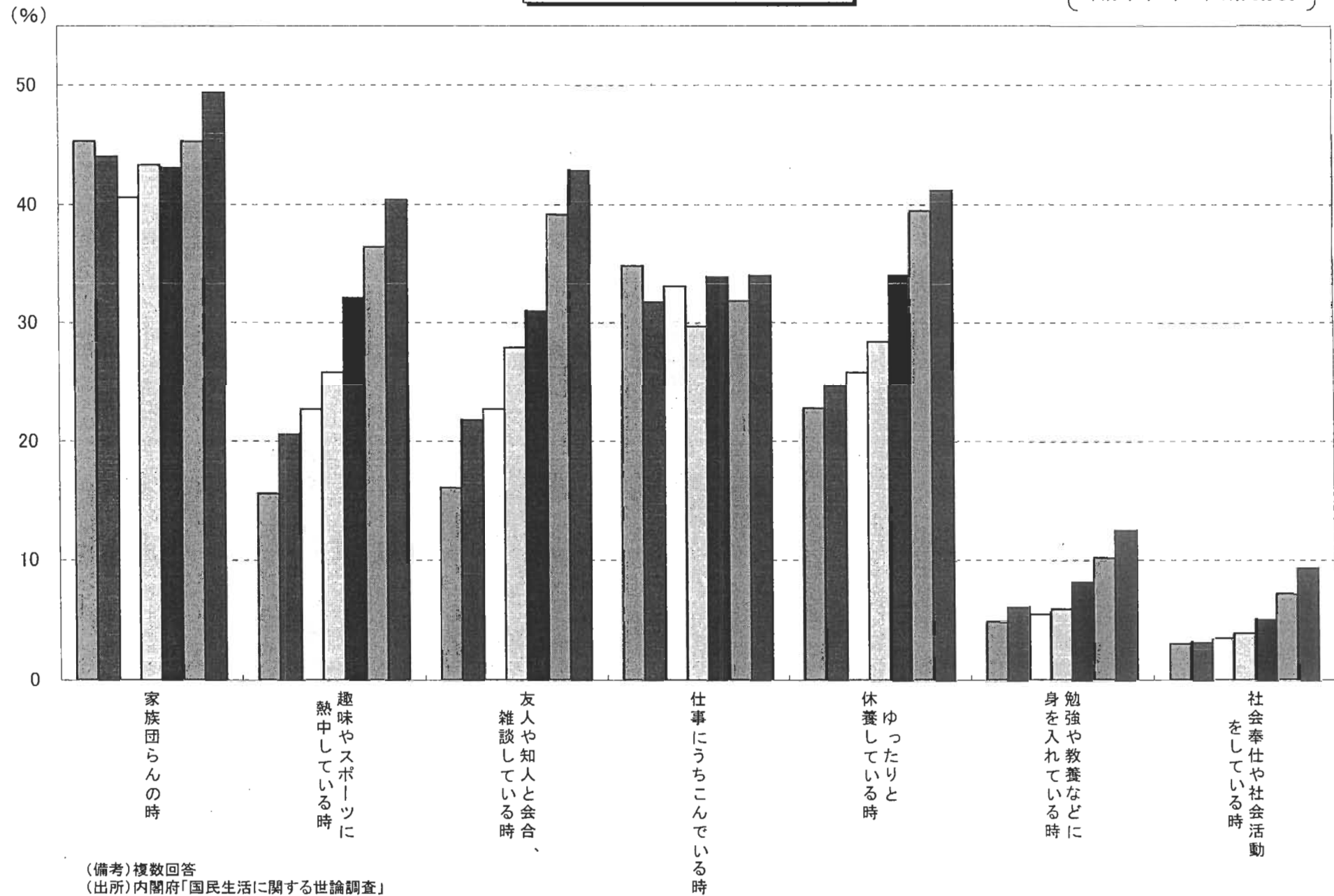
家庭の役割に関する意識



(備考)複数回答
(出所)内閣府「国民生活に関する世論調査」

充実感を感じる時

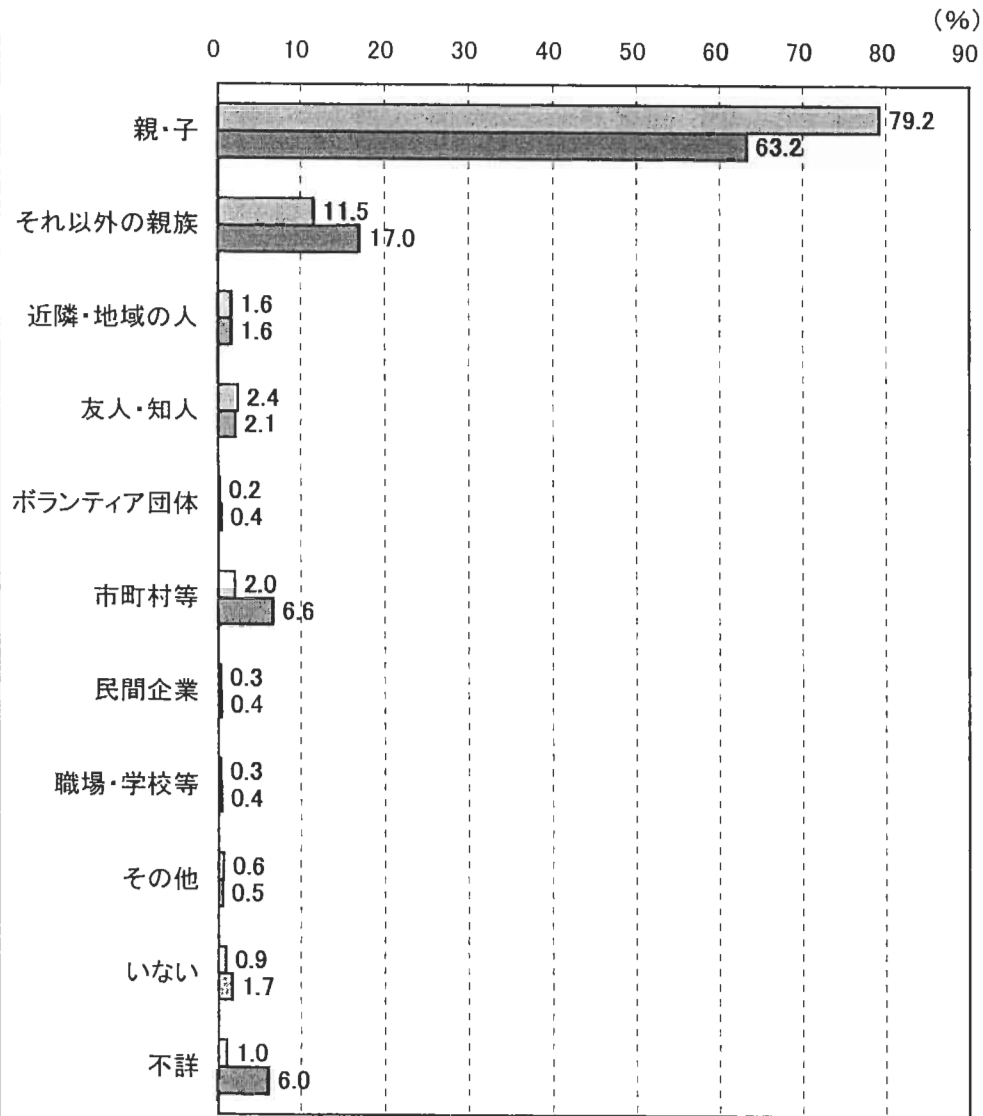
〔グラフは左から、昭和50、55、60、平成2、7、13、18年の順である。〕



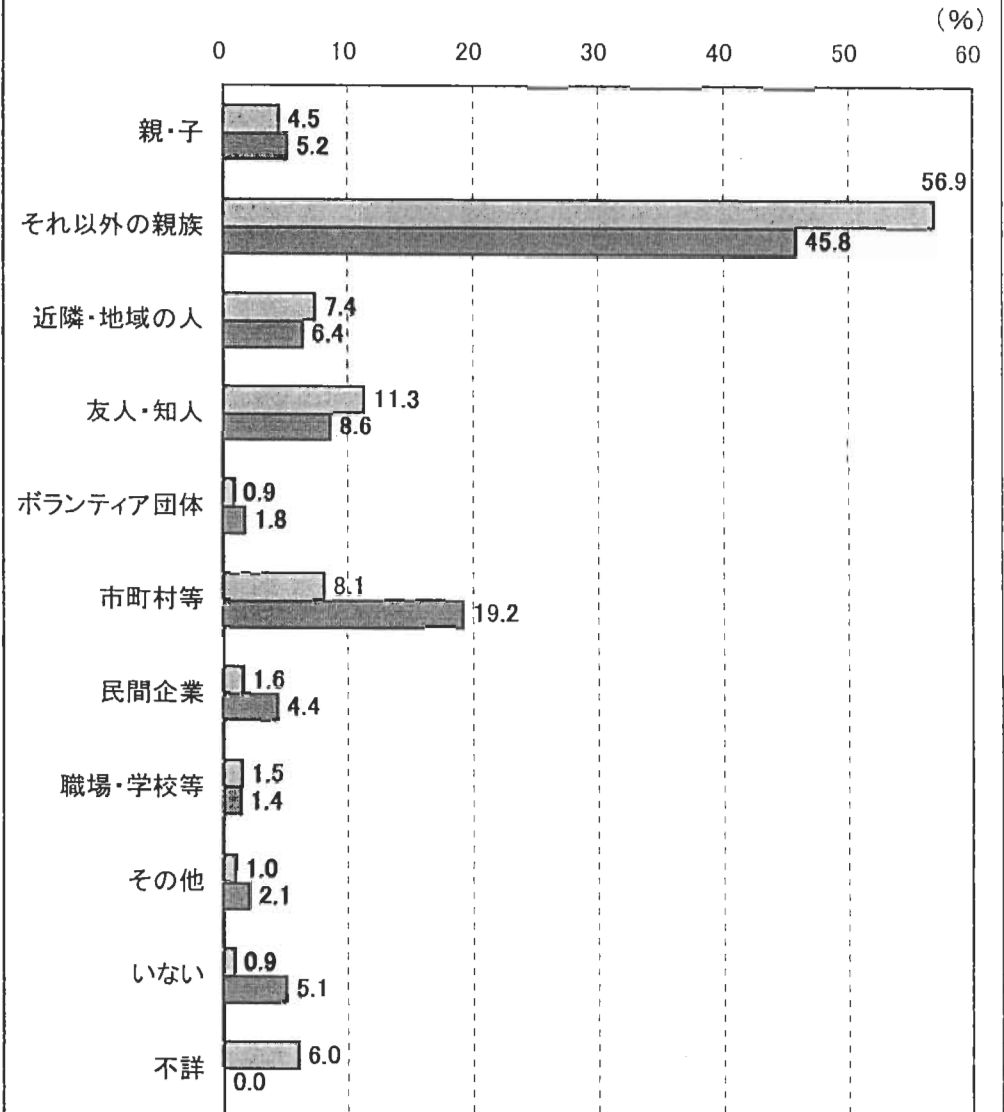
手助けが必要になった場合の頼む相手

(グラフ上段:平成6年 グラフ下段:平成13年)

(最初に頼む相手)



(次に頼む相手)



家族周期の歴史的比較
～ 鬼頭宏『人口から読む日本の歴史』から引用～

	男(夫)			女(妻)		
	18世紀 (信濃湯舟沢村)	1920年 (大正期)	1990年 (現代)	18世紀 (信濃湯舟沢村)	1920年 (大正期)	1990年 (現代)
①結婚	26.4歳	25.0歳	28.0歳	20.6歳	21.0歳	26.0歳
②第1子出生	29.5歳	27.5歳	29.7歳	23.7歳	23.5歳	27.7歳
③末子出生	46.1歳	39.5歳	32.0歳	40.3歳	35.5歳	30.0歳
④末子成人／学卒	61.1歳	54.5歳	52.0歳	55.3歳	50.5歳	50.0歳
⑤死亡	62.6歳	61.5歳	77.1歳	55.6歳	61.0歳	82.7歳
(配偶者死亡後の期間)	(+1.2年)	—	—	—	(+3.5年)	(+7.6年)

出産期間 (③－①)	19.7年	14.5年	4.0年	19.7年	14.5年	4.0年
子供扶養期間 (④－②)	31.6年	27年	22.3年	31.6年	27年	22.3年
脱扶養期間 (⑤－④)	1.5年	7.0年	25.1年	0.3年	10.5年	32.7年
結婚後期間 (⑤－①)	36.2年	36.5年	49.1年	35.0年	40.0年	56.7年

(備考) 下記「出所」において、宗門改帳等の文献及び一定の仮定を置いて試算したもの。(例えば、①江戸時代の成人及び大正期の学卒を15歳、現代の学卒を20歳と仮定、

②出生数は江戸時代及び大正期を5人、現代を2人と仮定、③夫婦の死亡年齢は、結婚等の平均余命により計算など。)

(出所) 鬼頭宏『人口から読む日本の歴史』より引用(232頁)